

1CH デジタル録画装置



Ver.1607

目次

1.はじめに------------------------------------	4
1-1 同梱品の確認 ------------------------------------	
1-2 各部名称	
1-3 リモコン------------------------------------	
1-4 各種動作------------------------------------	
2. 使用方法 ------------------------------------	
2-1 基本接続手順 — — — — — — — — — — — — — — — — — — —	
2-2 基本操作方法	С
2-3 機器の接続方法 --------------------------------	D-11
3. メニュー画面	2
3-1 メインメニュー --------------------- 13	3
3-2 システム設定 ------------------------------	3-14
3-3 ビデオ設定	4-16
3-4 イベント設定----------------------------------	3-17
3-5 サブメニュー ------------------------------------	3-19
4. ライブスクリーンモード	9-20
5. 録画検索 ------------------------------------	1
5-1 検索方法	2-25
6. 録画目安時間 - - - - - - - - - - - - - - - - - - -	3
	_
7. トラフルシューティング------------------------------------	/
	-
	3
	3
8-2 モーション録画をしたい場合	J
9.NS-32SDB II	2
	1
9-2 エラーヤンサー信号設定	2
9.3 PV - K	- ר
9-4 録画目安時間(NS-32SDR II)------------------------------	- 4
保証書 -----------------------------	5

1. はじめに

必ずお読みください

デジタル自動録画装置『NS-32SDR』は、監視防犯をはじめさまざまな映像を録画することを目的とした装置ですが、全ての映像を録画することを保障したものではありません。状況によっては映像を自動的に録画できないこともあります。弊社および販売店では映像が録画されなかった時の責任は一切負いません。

本製品は事故が起きた時の検証の補助として使用することもできますが、法的証拠として効力を保障するもので はありません。

本製品で録画した映像は、場合によって被撮影者のプライバシー権利を侵害することがあります。映像を活用す る際はご注意してください。撮影した映像に関するプライバシートラブルなどに関しまして弊社及び販売店は一 切の責任を負いません。

SD カードについて

- 1. SD カードを本機に再投入する場合には、PC 上で「FAT32」形式にてフォーマットしてから ご使用ください。
- 他メーカの SD カードなどをお使いになると機能しないものもあります。
 推奨メーカーのものをご使用ください。推奨メーカー: Trancend 製 SanDisk 製
- 録画中は SD カードを取り外さないでください。SD カードを取り出すときは録画ボタンを 3 秒以上押して録画を中止してから取り出してください。録画中に取り出すと最後の録画ファイルが 破壊され、SD カードの破損にもつながります。また、録画中に電源を切ると最後の録画ファイルが 破壊されます。録画を停止してから電源を切ることをお勧めします。
- 4. SD カードの挿入・取り出しは本書の説明書に従って慎重に行ってください。無理やり挿入したり 引き抜いて本体が破損した場合は、保証期間中であっても有償修理となります。

安全上の注意

本製品は国際的な安全基準を満たしています。

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次に説明 します。

- 1. 正規の電源を使用してください。指定電圧(DC12V)を越える AC アダプタにこの製品を接続すると 製品の破損となります。
- 2. 「NS-32SDR」に金属などの異物を差し込むと感電する場合があります。
- 3. 濡れたままでまたは埃をかぶった状態で使用しないでください。製品は清潔で、乾燥している場所で お使いください。
- 本製品は防水仕様ではありません。屋外では防水ハウジング等に入れてお使いください。
 万一水がかかった場合は、すぐにコンセントを抜いて販売店にご連絡ください。
- 5. 本製品の外部ケースを清掃する場合は、軽く湿らせた布を使用してください。溶剤の使用は厳禁です。
- 製品が作動しない場合は故障も考えられます。異常な音やにおいのする場合は直ちにコンセントから プラグを抜いて販売店にご連絡してください。
- ア. トップカバーをはずして使わないでください。
 ※警告:トップカバーをはずすと電気的異常をきたす恐れがあります。
- 8. 製品は精密機械なので、強く落下したり、ぶつけたりして破損しないよう注意深く取扱願います。
- 9. 万一、通常の使い方で故障した場合は、直ちに使用を中止し、修理または交換のため販売店に ご連絡ください。

10. 製品にはあらかじめリチウム電池を装填しています。電源を切った後、タイム表示が正常に動作しない場合はリチウム電池の交換が必要です。本体内部にある電池を交換するため、販売店へご連絡いただき、 弊社にて修理対応となるようお手続きをおこなってください。

警告: リチウム電池を交換する場合はトップカバーを外す必要があります。お客様自身での交換による 機器異常や破損、事故については保証対象外となりますのでご注意ください。

- 11. テレビやエアコンなどの各種赤外線リモコンで反応することがあります。その場合、リモコンで各種設定が 終わったらリモコン受光部を厚手の粘着テープなどでふさぐことで、対処してください。
- 12. 内蔵のタイムジェネレーターの精度は電波時計のように正確ではありません。使用環境温度が大きく 変動するところでは - 10℃~40℃では±60分程度/年の誤差を生ずる場合があります。
 したがって時々現在時刻に設定を合わせることをお勧めします。

免責事項

- ●本製品で録画した映像は、個人として利用するほかは、著作権法上権利者に無断で利用できませんので ご注意ください。
- 雷、津波、地震、その他自然災害、火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、 誤用、その他の異常な条件下での使用により故障および損傷が生じた場合、または弊社または弊社が 許可した者以外が分解や改造した場合、または腐食や錆などによる外観の劣化の場合、原則として 有償での修理とさせていただきます。
- ●別売りの SD カードなど消耗品に関しましてのトラブルは、弊社は一切の責任を負いません。 消耗品のお買い上げ販売店にご依頼ください。
- ●本製品の保証は、本書記載の内容をお守り頂かなかった場合、適用対象になりません。
- ●弊社では機器の故障、不具合、トラブルに対しての出張対応は行いません。修理、設定、などについては センドバック方式にて対応させていただきます。

1-1 同梱品の確認

万一、不備な点がございましたら、お買い上げの販売店にお申し付けください。

本体	リモコン	映像・音声入出力コネクタ + ピンコード 各×2
		0
アラーム端子	電源アダプタ	インストール CD
Image: Section of the section of th		
クイックガイド&各種説明書	SD カード(テスト用 4GB)	本体スタンド ※ BOX には付属しません。

1-2 各部名称



①アラーム OUT/IN : センサー端子を接続します。

※ターミナルブロックにセンサーを接続するとセンサーで反応したときイベント録画を始めます。

② SD カードスロット : SD カードを挿入します。※ 32GB までの推奨 SD カードを挿入してください。
 (推奨: SanDisk 社製、transcend 社製。32GB は SanDisk 社製の Class4、Class6、Class10の Ultra のみ使用可能です。)
 ※上記記載の SD カード以外を使用された場合、録画されなかったり、最悪 SD カードが抜けなくなることがございますので、絶対に使用しないでください。別売りの SD カードなど消耗品に関しましてのトラブルは、弊社は一切の責任を負いません。

③録画 LED(REC) : 録画中は LED が点灯します。

④ステータス LED(STA) : エラー発生時は速く点滅します(録画データの書き込み中は遅く点滅)

⑤電源 LED (PWR) : 電源がオンの状態では点灯します。

⑥リモコン受光部 : リモコンを使うときにこちらに向けてください。

⑦リセットボタン : 細いピンなどの先でボタンを押すと、本体設定がすべてリセットされます。

⑧録画映像入力端子 : 付属の映像・音声コネクタを接続します。

⑨録画映像出力端子 : 付属の映像・音声コネクタを接続します。

⑩電源入力端子 : 付属の電源アダプタを接続します。

1-3 リモコン



1		REC	 録画開始 / 停止を操作します。	
2		MENU	メニュー画面を表示させます。また、一つ前のメニュー画面へ戻ります。	
3		UP/ Down	メニュー画面でカーソルを上下移動させます。 また、個々の設定数値を変更します。	
4		LEFT/ RIGHT	メニュー画面では、個々の設定数値を上下変更します。	
5	¥	REW	再生画面内で巻き戻し操作を行います。	
6	FF 再生画面内で早送り操作を行います。		再生画面内で早送り操作を行います。	
7	PLAY 検索画面から、再生を実行します。		検索画面から、再生を実行します。	
8	8 STOP 再生を実行中、再生を停止します。		再生を実行中、再生を停止します。	
9	PAUSE 再生を実行中、再生を停止します。もう一度押すと再開します。		再生を実行中、再生を停止します。もう一度押すと再開します。	
10	MUTE 再生を実行中、音声を消します。			
11	ENT	ENT	NT メニュー画面では、各項目の数値変更や、設定変更の決定を 行います。	
12	$\overline{}$	SEARCH	再生検索画面を表示します。	
13		MODE	再生画面とカメラ映像画面を切り替えます。再生は継続します。	

1-4 各種動作

+## - +比	ライブ		ライブ 再生			
10th FE	スタンバイ	レコーディング	スタンバイ	再生	メニュー	印
録画	0	0	X	X	X	
メニュー	0	X	0	0	0	
検索	0	X	0	0	X	
モード	0	X	0	0	0	
UP	X	X	0	0	0	
DOWN	X	X	0	0	0	
巻き戻し	X	X	X	0	0	0: できる
早送り	X	X	X	0	0	V
ENTER	X	X	0	0	0	ヘ. できない
巻き戻し	X	X	X	0	0	
早送り	X	X	X	0	0	
再生	X	X	0	0	0	
停止	X	X	X	0	X	
ポーズ	X	X	X	0	X	
消音	X	X	X	0	X	

2. 使用方法

2-1. 基本接続手順

(1)SD カードを挿入します。

- (2)本体をテレビまたはモニターに接続します。(映像入出力コネクタ及びピンコードを使用してください)
- (3)本体にカメラを接続します。(映像入出力コネクタを使用してください)
- (4) 電源をつないでください。(電源アダプタを使用してください)
- (5) 録画をオンしてください。(リモコンの REC ボタンを押してください)
- (6) モニタリングとレコーディングを始めます。

SDカードの挿入・取り出しは以下の写真を参考に十分注意して行ってください。 間違って破損した場合は保証期間内でも有償修理となります。





SD カードの取り出し

- SD カードは爪などで軽く押し、つまめる程度出てきたら 抜いてください。
- ※カードを強制的に抜いたり、強く押し込みすぎると SD カードや機器のカード受け部分が破損し、 故障の原因となりますのでご注意ください。
- ※ SD カードの製造ロットやメーカーによっては、
 挿入した SD カードが抜きづらい場合があります。
 その場合、SD カードの側面にあるロックキーを
 数回動かした後再度挿入してください。
- ※録画中に SD カードを取り出すと、録画データの破損や、 SD カード自体の破損につながります。 必ず録画を停止させてください。

2-2 基本操作方法

- ●電源が入り、SD カードが挿入され、カメラがきちんと接続されていることを確認してください。
- SD カードはフォーマットされているものをお使いください。メモリーを初期化すると、
- 保存していた映像物や写真などのデータは全て消去されますので、慎重に行ってください。
- PC(以下パソコン)でフォーマットする場合は、ファイルシステム「FAT32」形式で
- フォーマットしてから使用してください。(新品や他の機器で使用していた SD カード使用前に行います)
- ●録画された画像は PC 専用ビュアーソフト「MicroDPlayer」で閲覧できます。
- NS-32SDR は、記録フレーム数を選ぶことができます。(最大:30 コマ/秒~) より多いフレーム数は、滑らかな映像となります。しかし、録画データ容量が大きくなるため、 SD カードの保存期間が少なくなります。目的にあわせて最適なフレーム数を選択してお使いください。
- ●カメラが NS-32SDR に通常接続されると、初期状態のカメラ映像画面になります。 この状態では録画や録音はしていません。
- ●録画を開始するためには、「REC ボタン」を押します。(強制連続録画モード)。
- ※停電などで電源がオフになった後、再度電源がオンになると自動的に連続録画が開始します。 (自動録画:ON設定時)
- ●録画中(「E」などのアイコン表示時)はメニュー画面 / 検索画面に入れませんので、 一度録画を停止してから操作を行ってください。
- ●リモコンや本体の周りにパソコンなどの電子機器があるとリモコン操作の誤作動を発生することが ありますので注意してください。



2-3 機器の接続方法

- ●付属の電源アダプターを本体の DC12V 端子に接続します。
- NS-32SDR の映像出力は「AV OUT」側から「映像・音声入出力コネクタ」と「ピンコード」を 使用してモニターまたはテレビに接続します。
- ●カメラの映像は「AV IN」側に、同様に接続します。
 ※黄色端子=映像 白色端子=音声
 ※カメラ、モニターへの接続ケーブルは付属していません。
- ●録画中は電源アダプターを抜くなどして電源をオフにしないでください。 電源を切る場合はリモコンで録画ボタンを3秒以上押して録画を停止した後(画面左下の「E」マークが 消えることを確認)後に電源アダプターを抜いてください。

NS-32SDR はセンサー信号を受信して自動的に録画を開始する機能があります。 アラームを起動させるには以下の接続をしてください。

センサーをターミナルブロックを使用して ALM IN/GND に接続してください。
 (警報器等外部機器に接続する場合は ALM OUT/GND に接続してください)
 センサー(外部機器)の電源を入れてください。



※接続するアラーム機器(センサー、外部機器)については、無電圧タイプの機器に限ります。 有電圧タイプのセンサーは接続しないでください。本体が破損する可能性があります。
※アラーム機器については適合機種を販売店とご相談ください。

3. メニュー画面

メニュー画面の出し方(操作は全て付属のリモコンで行ってください。)





【▲ / ▼ / ◀ / ▶ /】ボタンで移動、
 選択します。
 【ENT】ボタンで決定、次項目へ移動します。
 【MENU】ボタンで前画面に戻ります。

メニュー画面を出すには【MENU】ボタンを押してください。

上記の画面が表示されますので、パスワードを4桁入力します。 工場出荷時はパスワードが〔0,0,0,0〕になっておりますので、そのまま【ENT】ボタンを4回押します。 「0」以外の数値を入力する場合は、【▲ / ▼】ボタンで数値を変更し、設定したい数字が出たら【ENT】 ボタンを押します。カーソルが次の桁に移動し、同じく【▲ / ▼】ボタンで数値を設定し

【ENT】ボタンを押してください。

※録画中は「メニュー画面」は表示されません。一度録画を停止してから行ってください。 録画を停止するには【RECORD】ボタンを3秒以上長押しします。(モニター右下のマークが消えます。)



3-1 メインメニュー

メインメニューでは、リモコンの【▲ / ▼】ボタンで設定したい項目までカーソルを移動させます。設定した い項目が決まったら【ENT】ボタンを押してください。画面は選択した項目に移動します。 (次ページの例ではカーソルは"システムセットアップ"を選択しています。)



【ENT】ボタンで決定、次項目へ移動します。 「システムセットアップ」画面へ移動します。

【MENU】ボタンで前画面に戻ります。

3-2 システムセットアップ

※初期化オプションを実行すると、表示言語は英語になります。その場合、下記画面を操作し、 表示言語を Japanese」に変更します。



●日時設定 : 現在の日時と時刻の表示を[オン/オフ]設定します。

●タイムセット : 時刻の設定、調整を行います。「ENTER」ボタンで時刻設定項目を表示させます。

- 例:2013/02/17(年/月/日) 19:44:32 (時間/分/秒)の順に数値を変更します。
 カーソルは【◀/▶】ボタンで移動、【▲/▼】ボタンで数字を上下させます。
 必ず秒の数値の場所で、【ENT】ボタンで決定します。決定しない場合は、時刻の設定は反映されません。
- ●サマータイム : ※通常は使用しません。 ※使用した場合、設定時間を一定期間中1時間進めて表示します。

●時間補整 : 時間のずれを補正します。月 / 週 / 日毎に、秒単位で補正数値を設定できます。 タイムセットで現在の時刻を入力して保存した後、月 / 週 / 日毎に補正数値を入力することで時刻を 強制補正します。

※内蔵のタイムジェネレーターの精度は電波時計のように正確ではありません。使用環境温度が大きく 変動する影響する場合があります。-10℃~40℃では±60分程度/年の誤差を生ずる場合もあります。 したがって時々現在時刻に設定を合わせ、補正機能によって誤差を修正してください。
※時間補整の設定は、例:+004秒/日の設定を参考に、前後させてください。

●言語設定 : 日本語(他、英語、フランス語、オランダ語、ドイツ語、スペイン語、から選択できます。 出荷時は日本語で設定されています。

●映像出力 : NTSC で使用します。

●明るさ : 映像表示の明るさを、「最低 / 標準 / 最高」から選択します。

3-3 ビデオ設定

録画設定を行います。

ビデオ セットアップ		
とすず セットアック DVR MANAGER* ● 画質 : 352x240 > 画質 : 昔通 > ブレーム数 : 0 3 > ブリレコーディング時間 : 4 7 > ボストレコーディング時間 : 4 7 > 自動録画 : 4 7 > 上書き : 5 7 ご ※皆/ディスク容量残なし : 4 7 記録時間残 : 8 9 時 2 5 分	ALCRO DVR	L 選 【E 【N

【▲ / ▼ / ◀ / ▶ /】ボタンで移動、 選択します。 【ENT】ボタンで決定、次項目へ移動します。 【MENU】ボタンで前画面に戻ります。

●解像度 : 録画解像度を設定します。

録画解像度を、4CIF(704 × 480)、2CIF(704 × 240)、CIF(352 × 240)に設定できます。 数値が大きいほど画質が高くなり、録画時間が短くなります。

録画時の解像度(↓図)

	高い	普通	低い
4CIF	704x480 / 30fps	704x480 / 30fps	704x480 / 30fps
2CIF	704x240 / 30fps	704x240 / 30fps	704x240 / 30fps
CIF	352x240 / 30fps	352x240 / 30fps	352x240 / 30fps

※再生時の解像度は 4CIF(704 × 480)となっております。

- ●画質 : 録画画質を「高い/普通/低い」から選択します。
 カーソルを"画質"に合わせ【ENT】で項目決定 → 【◀ / ▶】ボタンで画質変更 → 【ENT】で決定します。
- ●フレーム数 : 録画映像の 1 秒間に保存するコマ数を設定します。 フレーム数が多いほど滑らかな動きの映像を録画しますが、録画できる時間は短くなります。 フレーム数が少ないほど動画がコマ送り状態となるため、撮影対象に合わせて設定します。

カーソルを【▼】ボタンで「フレーム数」に合わせ【ENT】で決定 → 【▲ / ▼】ボタンで設定変更 (下記の様に数値が順還又は逆順します。) → 【ENT】で決定

(1fps) → 3fps → 6fps → 10fps → 15fps → 30fps → % 1fps は機器の特性上使用を推奨しません。

●プリレコーディング時間 : 録画開始直前より遡って(およそ5秒前から)録画を開始する機能を「オン / オフ」選択します。
 (フレーム数設定値によって、プレレコードの秒数は自動的に決定されます)
 ※イベント録画(モーション、アラーム)設定時に機能します。

カーソルを【▼】ボタンで「プリレコーディング時間」に合わせ 【ENT】で決定 → 【◀ / ▶】ボタンで 「オン / オフ」を選択します。

●ポストレコーディング時間 : イベント録画時の録画する時間を設定します。 イベント反応時 (アラーム、モーション) に作成される録画データの時間を、5秒~30分の間で 設定できます。設定した時間分を1ファイルとして保存します。

※「イベントセットアップ」で「アラームセットアップ/モーション」=「オン」での録画設定時のみ 機能します。

カーソルを【▼】ボタンで"ポストレコーディング時間"に合わせ 【ENT】で決定 →

【▲ / ▼】ボタンで時間変更 (下記の様に数値が順還又は逆順します。)→ 【ENT】で決定

05sec ~ 59sec : 5 秒~ 59 秒 → 01min ~ 30min : 1 分~ 30 分

※解像度 / 画質 / フレーム数によってポストレコーディング時間の最小値は異なります。しかし、ある一定 容量のフレーム数が低かったり、録画時間が満たされていない場合は、設定した時間以上に録画すること があります。

●オーディオ入力レベル ; 音声録音時の音量を「O(オフ)~1O(最大)」に設定します。 ※誘導性のノイズを拾うことがありますが、機器の不良ではありません。 ※音質は接続したカメラ(マイク)影響されます。 ※マイク機能のないカメラを使用する場合は、「O(オフ)」にすることで、録画時間が若干長くなります。

カーソルを【▼】ボタンで"フレーム数"に合わせ【ENT】で決定 → 【▲ / ▼】ボタンで設定変更 (下記の様に数値が順還又は逆順します。) → 【ENT】で決定 $0 \rightarrow 1 \sim 10 \rightarrow 0$

●自動録画 ; オン / オフ ※オンに設定した場合、停電等で復旧した時も録画を開始します。ただし連続録画になります。 ※強制録画 回中に電源が切れた場合は、オフに設定していても復旧した時も連続録画で開始します。 ●上書き : 録画データの上書き機能を「オン/オフ」設定します。

「オン」の設定では、SD カードの容量がいっぱいになった時点で録画された古いデータから上書きされます。 「オフ」の設定では、SD カードの容量がいっぱいになった時点で録画を停止します。

カーソルを"上書き"に合わせ【ENT】で項目決定 → 【 \triangleleft / \blacktriangleright 】ボタンで「オン / オフ」変更 → 【ENT】 で決定します。

●警告 / ディスク容量残なし : 「上書き」設定が「オフ」の状態で SD カードの容量がない場合、 に表示する警告メッセージ表示を「オン / オフ」選択します。

カーソルを"上書き"に合わせ【ENT】で項目決定 → 【 \triangleleft / \blacktriangleright 】ボタンで「オン / オフ」変更 → 【ENT】 で決定します。

3-4 イベント検索



【▲ / ▼ / ◀ / ▶ /】ボタンで移動、
 選択します。
 【ENT】ボタンで決定、次項目へ移動します。
 【MENU】ボタンで前画面に戻ります。

●アラームセットアップ : アラーム録画時の信号の入出力「オン / オフ」また、種類を選択します。

○アラーム入力:(オン/オフ)アラーム入力を使用する場合は"オン"にします。
 入力タイプ:接続するセンサーに合わせて"NO"か"NC"を選択してください。
 ○ NC : (ノーマルクローズ) B 接点出力タイプのセンサーを接続します。

接続しているセンサーケーブルラインをオープンすればアラーム録画は自動的に開始します。

○ NO : (ノーマルオープン)A 接点出力タイプのセンサーを接続します。 接続しているセンサーケーブルラインをショートすればアラーム録画は自動的に開始します。

○アラーム出力 : (オン / オフ) アラーム出力する場合は "オン"にします。
 出力タイプ: "NO"か "NC"を選択してください。
 ○ NC : (ノーマルクローズ) NC 入力タイプの外部機器に接続します。
 ○ NO : (ノーマルオープン) NO 入力タイプの外部機器に接続します。

カーソルの【▼】ボタンで各項目に移動 → 【ENT】で決定 → 【◀ / ▶】ボタンで「オン / オフ」 または「NO/NC」を設定変更→ 【ENT】で決定

●連絡アラーム : アラーム信号を発報し続ける設定の場合に「オン」に選択します。

カーソルの【▼】ボタンで各項目に移動 → 【ENT】で決定 → 【 \triangleleft / ▶】ボタンで「オン / オフ」 または「NO/NC」を設定変更→ 【ENT】で決定 ●モーション : 動体検知録画の「オン / オフ」を設定します。
 オンにすると、録画は映像の動き(動体検知)があった際に録画を開始します。
 ※画像の中の動きを検知するため、光の動きなどにも反応します。人物に限らず録画が開始されますので カメラの位置や撮影範囲に注意して設定してください。

カーソルを【▼】ボタンで各項目に移動 → 【ENT】で決定 → 【◀ / ▶】ボタンで設定変更→ 【ENT】で決定

● 感度:(高い / 普通 / 低い) 動体検知の感度を設定します。
 高い(小さな動きでも反応します) → 普通→ 低い(普通より感度が少し鈍くなります)

●スケジュールセットアップ : スケジュール録画の設定を行います。
 ※モーション録画 / 連続録画時は必ず「オフ」を選択してください。
 ○時間:連続録画を、設定した時間実行し、設定時間外は録画を停止します。
 ○時間&イベント:イベント録画を、設定時間内実行し、設定時間外はイベント録画を停止します。

イベントセットアップ アラームセットアップ アラーム入力 : オフ 入力タイプ : N.O. アラーム出力 : オフ 出力タイプ : N.O. 連続アラーム : オフ 出力タイプ : N.O. 連続アラーム : オフ 送 >モーション : オフ ※ ・オーション : オフ ※ ・オブシュールセットアップ:時間 1.月曜日10金曜日100:00~09:00 2.月曜日10金曜日1180:00~23:00 3.オフ 4.オフ ・オフ	 (例) 左の画面では、 1.月曜~金曜 00:00~09:00 2.月曜~金曜 18:00~23:00 の時間帯に、モーションが感知した場合のみ録画をします。 [▲/▼/◀/▶/] ボタンで移動、 選択します。 [ENT] ボタンで決定、次項目へ移動します。 [MENU] ボタンで前画面に戻ります。
3.0ff 3.0ff カーソルが番号と OFF カーソルが番号と OFF を両方囲んだ図(図1) を両方囲んだ図(図2)	

メインメニュー / イベントセットアップ / スケジュールセットアップを選択

カーソルを【▼】ボタンで"スケジュールセットアップ"に合わせ 【ENT】で決定
 設定を「時間」または「時間&イベント」のどちらかを選択します。
 → オフから曜日設定に変える場合は【ENT】を押し、カーソルで"オフ"だけを囲む(上記図 2 参照)
 → 【▲ / ▼】ボタンで曜日を設定します。→【◀ / ▶】ボタンでカーソル移動→
 同じように曜日、時間、分まで設定
 →【ENT】を押してカーソルが横一列選択したら【▲ / ▼】ボタンでカーソルを上下に移動できます。
 ※移動できるようになれば、設定は保存されています。

3-5 サブメニュー

パスワードなどの設定を行います。



●パスワード設定 : パスワード機能を「はい / いいえ」選択します。 「いいえ」を選択すると、全てのパスワード機能しなくなります。 下記の操作もできなくなります。

カーソルを【▼】ボタンで各項目に移動 → 【ENT】で決定 → 【◀ / ▶】ボタンで設定変更→ 【ENT】で決定

パスワードの変更 : 「パスワード設定」が「はい」の状態で操作できます。現在設定されているパスワードの数値を変更します。

リモコンの【▲ / ▼】ボタンでカーソルを移動 →【ENT】で項目決定の操作を使用し、 【ENT】で決定 →「パスワード変更」の画面が表示されますので、下記画面操作を行ってください。 工場出荷時・パスワードは"0000"(【ENT】を4回押す)です。

【ハスワードを変更するには】			
現在パスワード(現在のパスワード)	:	工場出荷時は"0000"	
新規パスワード(新しいパスワード)	:	***	
パスワード確認(新しいパスワード 確認)	:	****	

【ENT】を押すとカーソルが「現在パスワード」に移動します。

「O」以外の数値を入力する場合は、【▲ / ▼】ボタンで数値を変え、設定したい数字が出たら 【ENT】ボタンを押します。カーソルが次の桁に移動し同じく操作し、4 桁目を設定し終えたら 【ENT】ボタンを押し設定を終了します。 同様の操作を、「新規パスワード」「パスワード確認」でも行います。

●インデックス再作成 : 録画中のモニター画面に「インデックスアイコン」が表示された場合、 インデックスの再作成を行うことができます。

カーソルを【▼】ボタンで各項目に移動 → 【ENT】で決定 → 【 \triangleleft / \blacktriangleright 】ボタンで設定変更→ 【ENT】で決定 SD カードの記録容量 : 今の録画設定での SD カード空き容量を示します。
 記憶容量残 : 現在、SD カードで使用可能な空き容量です。
 記憶容量 : 接続されている SD カードの全体容量です。

4. ライブスクリーンモード



現在時刻表示 : 録画装置内の時計の現在時刻を表示します(設定 P●●参照)

メッセージ	: 機器のエラ-	ーなど処理中状態をメ	ッセージと	して表示します。	(下図参照)
-------	----------	------------	-------	----------	--------

メッセージ	説明
初期化中	MICRO Dが最初に認識されました
お待ちください	再生とライブを交換、またはスクリーンとOSDを交換して待機中のとき
ファイルが見つかりません	記録されたファイルが検索モードで見つからないとき
SDカードエラー	SDカードが破壊したか記録が破壊したかの表示
信号なし	ビデオ信号が入力されてません
SDカードロック	SDカードがロックされているか不良です。
SDカードを挿入してください	SDカードが挿入されてません
SDカードがいっぱいです	OVER WRITE OFFのときSDカードが満杯になったら記録できません

録画の表示は最初に赤い色で表示され、それから白に変わります



赤い指標:レコーディングは処理中で、レコーディングを止めてもファイルは保存 されません。(データは、ファイルを作るのに十分でありません)



白い指標:白い指標が示されるとき、レコーディングを止めても、ファイルは記録 されています。

E	EMERGENCY	連続録画中です。※英字表示時は「R」表示となります。		
Μ	MOTION	モーション録画中です。		
A	ALARM	LARM アラーム録画中です。		
T	TIME	スケジュール録画中です。		
	FULL	SD カードの残りがありません。 ※ OSD 設定の警告が OFF の場合、アイコンは 表示されません。		
	SYNC	インデックス再作成を表示します。		

5. 録画検索

SEARCH 検索再生

『SEARCH』ボタンを押すと、ログインウインドウが現れます。 ENTER ボタンで、4 桁パスワードを入力してください。





『リスト』をクリックしてください。検索結果がリストで表示されます。次に再生したいファイルを選択し、 『PLAY』ボタンを押すと再生が開始されます。





早送り再生

5-1 検索方法

録画検索は「時間」、「イベント」、「両方」、「(指定)なし」の4種類の検索方法があります。 ※イベントは「アラーム / 手動 / モーション / 時間」の4種類の録画システムを選択できます。 ※「なし」を選択すると、保存されているすべての録画データを検索します。

●「時間」からの検索方法

検索方法を「時間」に選択すると、時間検索画面が表示されます。 ここでは検索開始時間と終了時間を設定し、その間に録画されたデータを検索します。



※1行目は検索開始時間の設定です。

【ENT】で決定 →【◀ / ▶】ボタンで項目を"時間"に設定 →【ENT】で決定 カーソルが"検索方法"に戻ったら【▼】ボタンでカーソルを画面中央の時間帯に移動させます。 ※時間帯全体をカーソルが囲みます。

→ 【ENT】 で決定 → 【▲ / ▼】 ボタンで "年"を設定→ 【ENT】 で決定又は 【▶】 ボタンでカーソル移動 →以下同様に「月 / 日 / 時 / 分」 まで設定したら → 【ENT】 で決定

※2行目は検索終了時間の設定です。

同様に「月/日/時/分」まで設定したら→【ENT】で決定→時間帯全体をカーソルが囲みます。 【▼】ボタンでカーソルを「リスト」へ移動→【ENT】で決定→録画検索リストが表示されます。

●「イベント」からの検索方法

検索方法を「イベント」に選択すると、時間検索画面が表示されます。 ここでは録画の種類別に検索します。

【ENT】で決定 →【◀ / ▶】ボタンで項目を"イベント"に設定 →【ENT】で決定 カーソルが"検索方法"に戻ったら【▼】ボタンでカーソルを「アラーム」へ移動させます。 ※「アラーム」をカーソルが囲みます。

→ 【▶】ボタンで検索方法を表示させます。→「アラーム / 手動 / モーション / 時間」の各項目が順に表示 されますので、検索したい項目が表示されるまで、順次ボタンを押してください。

→ 表示されたら【▼】ボタンでカーソルを「リスト」へ移動→【ENT】ボタンで検索します。

		検索リスト	DVR MANAGER*	
	>検索方法	: 1~01		MICRO DVR
	アラーム			Contraction of the local division of the loc
٩				AT 建 T ENTER MENU EXIT

アラーム「A」アイコン =アラーム録画
 手動「E」アイコン =「REC」ボタンを押す、強制連続録画
 モーション「M」アイコン =動体検知録画
 時間「T」アイコン =スケジュール録画

●「両方」からの検索 前述の「時間」からの検索と、「イベント」からの検索を複合して検索します。 検索範囲時間を指定し、その中のイベントのみ検索します。

【ENT】で決定 →【◀ / ▶】ボタンで項目を "両方" に設定 →【ENT】で決定



※以後の操作は、前述の「時間」と「イベント」ボタン操作を参照してください。 操作は、「イベント」→「時間」の順に設定します。

●「なし」からの検索

保存されているすべてのデータを検索します。

【ENT】で決定 → 【 ◀ / ▶】ボタンで項目を"なし"に設定 → 【ENT】で決定 カーソルが"検索方法"に戻ったら【▼】ボタンでカーソルを「リスト」へ移動させます。 【ENT】で決定→ 録画検索リストが表示されます。

●検索リスト



検索リスト画面では、検索された録画データが一覧で表示されます。

 ○録画リスト : 録画データを「年月日 時分「イベントアイコン」 で表示します。
 1ページに最大5行表示され、次のリストへ移動する場合は画面下部の「次」へカーソルを 移動させます。

※再生操作

【▲ / ▼】ボタンでリストを選択→ 再生したいデータ上にカーソルが移動させ【ENT】ボタンで決定 →次画面では、再生は【▶】ボタンで開始。

※検索操作

【▲ / ▼】ボタンでリストを選択→「次」へカーソルを移動→【ENT】ボタンで次のリストを表示 リスト末尾まで移動すると、「前」と表示が変更されます。 再生を開始する場合は「※再生操作」を参照してください。

6. 録画再生画面

録画再生中は、早送り・巻き戻し操作をができます。



検索した映像を再生するには、【PLAY】ボタンを押してください。 すると再生が始まり時計表示は、検索した時間の表示となります。

●検索 早送り再生

【▶▶】ボタンを押すと "2 倍"の早送り映像になり、"x2"マークが数秒表示されます。 さらに押すと "4 倍" "8 倍" "16 倍"の早送り映像になりマークも、送りの 早さが数秒表示されます。

●検索 早戻し再生

【◀◀】ボタンを押すと"2倍"の早戻し映像になり、"REW x2"マークが数秒表示されます。 表示は早送りと同様です。

●検索再生 停止
 【■】ボタンを押すと再生を停止します。【Ⅱ】

※映像は選択した時間のデータのみを繰り返し画面に映し出します

6. 録画時間目安

画像サイズ	画質	30フレーム/秒	15フレーム/秒	10フレーム/秒	6フレーム/秒	3フレーム/秒
704×480	高	17時間25分	34時間51分	52時間17分	87時間09分	174時間
	普通	31時間22分	62時間45分	94時間07分	156時間	313時間
	低	62時間45分	125時間	188時間	313時間	627時間
704×240	高	26時間08分	52時間17分	78時間26分	130時間	261時間
	普通	39時間13分	78時間26分	117時間	196時間	392時間
	低	78時間26分	156時間	235時間	392時間	784時間
352×240	高	31時間22分	62時間45分	94時間7分	156時間	313時間
	普通	57時間17分	104時間	156時間	261時間	522時間
	低	104時間	209時間	313時間	522時間	1045時間

※ SDHC カード 16GB 使用時 映像のみ録画

撮影対象や環境条件によって表記録画時間は大幅に変動します。

(動きのある撮影対象ほど録画時間が短くなります)

映像と同時に音声も記録される場合、特に低フレーム / 秒では極端に記録時間が短くなります。

- 例) 15 フレーム / 秒 : 表記時間の 85%~ 50%
 - 6 フレーム / 秒 💠 表記時間の 75%~ 30%
- ※録画フレーム:1フレーム / 秒での記録は圧縮ソフトの特性上3フレーム / 秒の記録の約50%の記録時間に なります。したがって、本録画装置は3フレーム / 秒以上でのご使用を推奨します。

※ SD カードに記録可能なファイル数は2000ファイルまでです。

2000ファイル以上になると SD カードに空き容量があっても録画が停止します。(上書き OFF の場合) ただし、上書きオンになっている場合は SD カードに空きがあってもそこから上書きしますが 2000ファイルより多くはファイルしません。

7. トラブルシューティング

1. 電源が入らない

本機の付属の AC アダプターが確実に接続されているか確認してください。 製品を長い間使わないで放置していると、内蔵のRTCバッテリーが放電して製品が 起動しないことがあります。付属の AC アダプターを接続して1時間以上充電してください。

2. モニターに画面が表示ない

電源がオンであることを確かめてください。本体背面パネルの「POWER LED」が点灯しているか 確かめてください。点灯してなければ電源ケーブルが正確に接続されていない可能性があります。 また接続しているケーブル類が正確に接続されているか確認してください。

- 画面にブルー・スクリーンだけ映る(時計表示などが表示されない)
 本体の映像出力のケーブル、コネクター等の接続部をチェックしてください。これらの接続に関して
 問題を見つけることができない場合は、カメラ電源ケーブルがしっかり接続されているかチェックしてください。
- 4. メニュー・ボタンを押してもメニュー画面が開かない
 本体が録画中はメニュー画面は開きません。録画を停止してから操作を行ってください。
 手動録画(画面右下に「E」マーク)を終了するためには、再度「RECORD」ボタンを押してください。
 「E」マークが消えたら録画は停止です。
 モーション録画(画面右下に「M」マーク)を終了するためには、画面右下より「E」、「M」マークを
 両方を消してください。
- 画面に、SD エラーメッセージがでる。
 エラーメッセージが出る場合、SD カードを PC 上で再フォーマットをし直すか、それでもまだ
 エラーメッセージが出るなら、SD カードを交換してください。また「SD カードがロックされています」
 と表示される場合は、カード側面のロックを確認してください。
- 6. 録画されていない。

イベント録画の場合、イベント設定内の各設定が「オン」になっているか、またイベント設定内の スケジュール設定をする場合はイベントの時間設定は合っているか確認します。 SD カードが認識されているか、録画ボタンを押し忘れていないかも確認します。

- パソコンで SD カードに記録された映像データを見るには SD カード上で使用されるファイル・フォーマットは、ウインドウズまたは Linux を含むどんな PC オペレーティング・システムによっても支援されません。したがって、専用ソフトを使用せず PC で、SD カード内の映像を見ることができません。専用ソフトのビューアーをインストールして 映像を見てください。
- テレビやエアコンなどの各種赤外リモコンで反応することがありますので、リモコンで各種設定が 終わったらリモコン受光部を光透過しない厚手の粘着テープなどでふさぐことをお勧めします。 誤って赤外線が反応し、設定画面を呼び出しているときは録画しません。

8. 一般的なメニュー画面の設定 8-1 連続録画をしたい場合

メインメニュー \Rightarrow ビデオセットアップ 自動録画 \Rightarrow 「オン」に設定 上書き \Rightarrow 「オン」に設定

※電源がオフになり、再度起動したときに自動で録画を開始します。

※ SD カードがいっぱいになっても、古いデータから削除して録画を継続します。



メインメニュー ⇒ イベントセットアップ モーション録画 ⇒ 「オフ」に設定。 ※初期値はモーション録画設定は「オフ」です。 ※録画時間は、別表 P24 を参照してくだい。

DVR MANAGER	イベントセットアップ OVE MANAGER
システムセットアップ	WICEO DVR DVR DVR DVR DVR ンフラームセットアップ アラームセットアップ アラームセットアップ アラームセットアップ アラームセットアップ
□ ビデオセットアップ 注:: イベントセットアップ	
Ø サブメニュー 初期化オブション : いいえ	ENTER P A/ジュールセットアップ : 時間 1.47 1.47
	€ 4.7 EXIT

以上で稼働中は連続録画を行う設定ができます。

8-2 モーション録画をしたい場合

侵入者(映像に動き)があったときのみ自動的に録画をする場合 メインメニュー \Rightarrow ビデオセットアップ 自動録画 \Rightarrow 「オフ」 プリレコーディング \Rightarrow 「オン」 ポストレコーディング \Rightarrow 「任意の秒数」



メインメニュー ⇒ イベントセットアップ

モーション ⇒ 「オン」

感度 ⇒ 「高/普通/低」任意設定

- ※この設定では、動体を感知して(モーションディテクト機能)、感知数秒前から録画を始めます。 動きが無くると自動的に録画をストップします。
- ※動体検知機能は、人に限らずすべての映像の動作によって録画の「オン / オフ」を制御します。 感度設定や、撮影範囲の設定などにより、録画される内容は大きく変わります。

注意

※撮影場所によっては、動体検知機能に不向きな場所(屋外、道路など)もありますので、使用する場所 には十分検討してから導入してください。



9.NS-32SDR II (Ver.7. 0.0)の追加機能



NS-32SDR は、「NS-32SDR II「という品名となる場合追加機能がありバージョンアップしております。 基本的な動作は同様であるため、必要に応じて使い分けをしていただけますようお願いします。 また、「NS-3200BOX II」は「NS-32SDR II」を搭載しておりますので、以降の説明を確認の上 運用していただけますようお願いします。

また PC 専用閲覧ソフトも機器にあわせバージョンを変更しておりますので、機器のバージョンにあった ソフトをご使用ください。

追加機能

- 1. セキュリティが強化されました。録画データ再生時にもパスワード設定ができます。 これにより、再生データの閲覧権限を管理することができます。
- 2. 録画エラー時にセンサー信号(無電圧接点 NC/NO 信号)を出力することができます。
 この機能により、外部へ録画エラーを通知することができます。
 ※ NS-3200BOX II はこの機能を利用し、屋外 BOX の底部に LED を搭載してエラーの有無を
 外部から確認することができます。
- 3. 録画画質を4段階に設定することができます。「高/中/低/長時間」から選択できます。
 ※ NS-32SDR IIは、個々のデータにパスワードをかけられますが、そのため録画時間が NS-32SDR と比べ短くなっています。録画時間を長くするためには、「長時間」画質を選択してください。
 録画時間の目安は、別表を参照してください。

9-1. パスワード設定

録画したデータを、パソコン上で(MicroDPlayer)で再生する際に必要なパスワードを設定します。 8桁の数字で設定できます。



【▲/▼/ ◀/ ▶/】ボタンで移動、 選択します。 【ENT】ボタンで決定、次項目へ移動します。 【MENU】ボタンで前画面に戻ります。

メインメニュー / サブメニューを選択

- → 【ENT】で決定 → 【
- → カーソルが "8 桁"の左端に表示されたら【▲ / ▼】ボタンでカーソルの数字を設定します。

→【ENT】で決定又は【▶】ボタンでカーソル移動→ 繰り返し設定し、8 桁目まで設定したら【ENT】で決定。 設定が保存されます。

※初期設定値は「0000000」(0×8)です。

※ MicroDPlayer では、「00000000」は「設定なし」と同じ意味となりますので、機能をオンにする ためには、必ず数字を設定してください。

※設定の変更は本体でのみ行えます。本体で設定をさせないためには、メニュー画面へ入るための パスワードを設定してください。(P18 参照)

9-2. エラーセンサー信号設定

本来持っているセンサー信号出力機能の種類を、「ビデオロス / 録画停止(録画エラー時)/ SD カードエラー」の状態の時に出力されるように設定できます。

弊社製品「NS-3200BOX II」ではこの機能を利用して、屋外用 BOX に LED を搭載させ点灯の状態でエラーを外部から確認できるよう組み立てられています。

	イベントセ	ットアップ dvr manager®	1
e ,	>アラームセットアップ >アラーム入力 入力タイプ アラーム出力 #サウィブ	:オフ :N.O. :オン	MICRO
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	エリメイノ 連続アラーム エラー感知	・N.C. :オフ :オン :オフ	選択
P	感度 メスケジュールセットアップ 1.オフ	:普通 ブ:時間&イベント	ENTER
	2.オフ 3.オフ 4.オフ		EXII

メインメニュー / イベントセットアップを選択

- →【ENT】で決定 →【▼】ボタンで項目を"アラーム出力"へ移動 →【ENT】で決定
- → 【▲ / ▼】 ボタンで【ON】を選択し、【ENT】で決定
- →【▼】ボタンで項目を"出力タイプ"へ移動→【ENT】で決定→【▲ / ▼】ボタンで【NC/NO】を選択し、
 【ENT】で決定

※アラーム信号を受信する機器によって選択します。

→ 【▼】 ボタンで項目を" エラー感知" へ移動→ 【ENT】 で決定 【▲ / ▼】 ボタンで 【オン】 を選択し、【ENT】 で決定

※モーション録画は使用できません必ず「オフ」を選択してください。 ※連続録画での使用を推奨します。

9-3. ピンコード設定

個々の録画データ(ファイル単位)にパスワードを設定することができます。 同梱の PC 用ビュアーソフト(MicroDPlayer Ver.6.0)で再生する際に、ファイルやフォルダを 開く度にスワードの入力を求められます。本体で設定したパスワードが一致しないと再生ができなく なります。



メインメニュー / サブメニューを選択

- →【ENT】で決定 →【▼】ボタンで項目を "ピンコード" へ移動 →【ENT】で決定
- →【 ◀ / ▶】でカーソルを移動させ、【 ▲ / ▼】で数字を入力します。 ※初期数値は「00000000」です。この場合パスワードは無効となります。
- →入力が完了したら、【ENT】で決定します。
 - ※ピンコードを認識するソフトウェアは、「MicroDPlayer Ver.6.0.0.0」となります。 他のバージョンのソフトウェアでは機能しません。また、本体側(NS-32SDR II)のバージョン が Ver.6.0 であることを確認してください。双方バージョンが違う場合は追加機能は 正常に機能しません。
 - ※このパスワードは、パソコンでのデータの再生時(ビュアーソフトマニュアル Ver.2.0 P7 参照)の画面で入力を求められます。「00000000」は無効となります。
 設定されたパスワードを入力すると、そのパスワードが設定されたファイルのみが検索され、パスワードが一致しないファイルは検索されません。
 (ビュアーソフトマニュアル Ver.2.0 P11 参照)

9-4 録画目安時間 (NS-32SDR II)

画像サイズ	画質	30フレーム/秒	15フレーム/秒	10フレーム/秒	6フレ ー ム/秒	3フレーム/秒
704×480	高	22時間37分	25時間42分	29時間42分	33時間17分	41時間09分
	普通	25時間36分	29時間39分	35時間04分	45時間43分	52時間53分
	低	31時間56分	38時間29分	48時間09分	60時間55分	73時間59分
	長時間	52時間48分	81時間40分	123時間	183時間	308時間
704×240	高	27時間25分	32時間40分	36時間56分	46時間13分	61時間41分
	普通	31時間56分	42時間44分	41時間7分	61時間33分	73時間59分
	低	38時間15分	48時間02分	61時間23分	73時間48分	92時間25分
	長時間	72時間3分	103時間	144時間	243時間	370時間
352×240	高	30時間35分	36時間51分	46時間07分	62時間10分	78時間42分
	普通	40時間39分	49時間03分	61時間23分	81時間58分	93時間21分
	低	52時間5分	61時間11分	73時間34分	92時間09分	123時間
	長時間	102時間	142時間	211時間	280時間	531時間

■NS-32SDRI SDHCカード:16GB 映像のみ記録

撮影対象や環境条件によって表記録画時間は大幅に変動します。

(動きのある撮影対象ほど録画時間が短くなります)

映像と同時に音声も記録される場合、特に低フレーム / 秒では極端に記録時間が短くなります。

例) 15 フレーム / 秒 : 表記時間の 85%~ 50%
 6 フレーム / 秒 : 表記時間の 75%~ 30%

※録画フレーム:1フレーム / 秒での記録は圧縮ソフトの特性上3フレーム / 秒の記録の約50%の記録時間に なります。したがって、本録画装置は3フレーム / 秒以上でのご使用を推奨します。

(2) 新 主	■ご注意		
	●本器の故障・誤作動・不具合・通信不良、停電・落雷などの外的要因、 第三者による妨害行行為などの		
株式会社NSKは、本製品についてご購入日より本保証書に記載の保証期間を 設けております。	要因によって、通信、振売、録囲機会を逃したために生じた経済損失につきましては、 当社は一切その責任を負いかねます。		
本製品は人命にかかわる医療機器等の用途には使用しないでください。 高い信頼性が求められる用途に使用する場合はシステムの故障等の処置に万全を 期してください。	●通信、録画内容や保持情報漏えい、改ざん、破壊などによる経済的・精神的損害に つきましては、当社は一切その責任を負いかねます。		
その場合、その結果に対しての損害賠償責任について弊社は負担いたしません。 本製品付属の取扱説明書などに従った正常な使用状態の下で、万一保障期間内に 故障、不具合が発生した場合、本保障規定に基づき無償修理交換対応を行います。 ただし、次のような場合には保障期間内であっても有償修理となります。	●本器のパッケージ等に記載されている機能、性能値は当社試験環境下での 参考測定値であり、お客様環境下での性能を保障するものではありません。 また、バージョンアップ等により予告なく性能が上下することがありす。		
(修理を依頼される場合の社復の広料はお各様のご見担となります) 1.本保証書がない場合	●ハードウェア、ソフトウェア(ファームウェア)、外観に関しては将来予告なく 変更されることがあります。		
2.本保証書に、ご購入日・お名前・ご購入代理店の印字等の記入がない場合、 または購入先や購入日が改ざんされている場合 注:太字及び※印の項目は必ず記入願います。	●ソフトウェア(ファームウェア)、更新ファイル公開を通じた修正や機能は、 お客様サービスの一環として随時提供しているものです。 内容や提供時期に関しての保証は一切ありません。		
3.取扱上の誤り、または不当な改造や修理を原因とする故障および損傷である場合	●一般的にインターネットなどの公衆網の利用に際しては、 通信事業者との契約が必要となります。		
4.ご購入後の輸送·移動·移設·落下による故障および損傷	●通信事業者によっては公衆網に接続可能な端末の台数、機能、回線の使用率		
5.火災、地震、落雷、風水害、ガス害、塩害、異常電圧およびそのほかの天変地異など、 外部に原因がある故障および損傷である場	などについて設定を行っている場合がありますので、通信事業者と端未機器の 導入に際して契約内容などをご確認ください。 このため弊社機器はすべての公衆網との接続を保障するものではありません。 、 2.2.5.5.5.5.5.5.5.5.5.5.5.5.5.5.5.5.5.5		
6.他の機器との接続に起因する故障·損傷である場合	通信事業者側の環境においては通信機能を有効にできない場合もありますので ご了承ください。		
■初期不良交換、修理の手続き	●公衆網に関連してDDNSサーバーのサービスを利用できる機器については、		
●保証期間発生日より1ヵ月以内の故障に関しては、初期不良交換サービスの 対象となります。	サーバーの臨時メンテナンスや、サーバー設備の障害、やむをえない事情による サービス提供の停止、などの理由によりサービスを継続的に提供できない場合も ありますので、あらかじめご了楽願います。		
●お客様より初期不良である旨申告していただき、弊社がその申告現象を確認した場合に限り、初期不良品として新品と交換いたします。	●本器を廃棄するときは、地方自治体の条例に従ってください。		
(送料については弊社負担とさせていただきます) ただし、検査の結果、動作環境や相性を起因とする不具合であった場合には、 初期不良交換サービス対象とはなりません。 また、当サービスをご利用いただくには、お買い上げ商品のすべての付属品が 揃っていることが条件となります。	●本器及び弊社製品は日本国内での利用可能な製品であるため、 別途定める保証規定は日本国内でのみ有効です。海外での利用はできません。 また、ご利用の際は各地域の法令や政令、ガイドラインなどに従ってください。		
●弊社では、出張修理あるいは不具合原因の現地調査は行っておりません。	●お客様が購入された製品の使用において、録画映像の流出や、 またにますく得実的使用において、録画映像の流出や、		
●弊社ではセンドバック(先に修理依頼品または不具合品をお送りいただき、 弊社より修理完了品または初期不良交換品をご返却する)方式でのみ、 対応を行っております。	 ↑法行為に至うく損害賠償員任は、弊在では一切員任を良いません。 ●お客様および第三者の放意または過失と認められる本製品の 故障・不具合の発生につきましては、弊社では一切責任を負いません。 		
●修理費用については代理販売店や購入店を通しての対応となります。	●製品の使用および不具合の発生によって、二次的に発生した損害		
	(事業の中的10%の事業利益の損失、記憶装置の内谷の支10%月天、 また建物の現状復帰や取り外し施工についての費用・損失)につきましては、 弊社では一切責任を負いません。		
【!】 「上る」 ■電源は家庭用AC100V(50Hz/60Hz)のコンセント以外で使用しないでください。また、	● 製品の装着することによりほかの機器に生じた故障・損傷について.		
タコ足配線はしないでください。火災、感電の原因となります。 ■必ず付尾のACアダプターを使用してください。	弊社では本製品以外についての修理費等は一切保障いたしません。		
■ACアダプターのコードを傷つけたり、破損させたり加工したりしないでください。 重いものをのせたり、引っ張ったり、無理に曲げたりすると、コードを傷め、火災・感電の 原因となります。	※本保証書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in japan.		
■ぬれた手でACアダプターを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。	製品保証書		
■ カー、発熱していたり、理か出ている、異臭かするなどの異常かあるときは使用しないでください。 異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。 すぐにんCアダブターをコンセントから抜いてください。			
■動作環境範囲外で機器をご利用にならないでください。	^{※保証期間} ご購入日 年 月 日 より 】年間		
本器を改造あるいは、分解しないでください。火災・感電の原因となります。 また、内部には電圧の高い部分があり、感電の恐れがあります。			
■長期間使用されないときは、安全のため、ACアダブターをコンセントから抜いておいてください。 ■客雷の恐れがある場合は、すみやかに本意を停止させ、コンセントからACアダブターを おいてください、(使用協力)、一カーの、お切してよる空気 突きが同面で声響が必要する			
あっていたい。(Francost が つくのうし か つくのうになるくく as much and a constant and a solution and a constant and a solution and a constant and a solution and	※W2回曲や シリアル NO.		
●直射日光のあたる場所 ●特に高温低温になる場所 ●温度変化の激しい場所 ●振動の多い場所 ●油煙、湯気、湿気があたる場所 ●静電気が多く発生する場所 ●強い磁気や電磁波が発生する装置(発電機やアンプ)が近くにある場所	お名前 お客様		
●機器の圧像に合わないヤ安定は場所や、落下の回検がめる場所 ■本器を移動、移設させる場合は、ACアダプターをコンセントから抜き通電停止の状態に なってから配線を抜いて下さい。	連絡先 ご住所		
■金融機器、医療機器や人名に直接または間接的に関わるシステムなど、高い安全性が 要求される用途には使用しないでください。			
	ご購入		
④ ④ 録画機についての注意	代理店様		
■湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。	所在地		
■本務の通風孔をふさかないでください。 内部に熟がごもり、機器の不良や火災の原因となることがあります。 内蔵の記憶煤体は高温に弱い場合もあるため、適度な検索が必要です。	株式会社NSK		
■3年に一度を目安に内部の清掃や稼働点検を販売店に依頼してください。 なお、内部清掃占検費田については、販売店にで相略ください。	〒461-0043 名古屋市東区大幸 1-10-15		
ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー	TEL:0570-666-797 FAX:052-726-5297 電話英位:日本会唱日,0:00,10:00		
寒tゅとは必りません(現代語彙ないとなります)。 次の留意点踏まえたうえてご使用ください。 ● <u>衛零.振動をあたえないでください。</u> ●電源の入切りを頻繁に行わないでください。	电品支刊・月~金唯日、9:00~12:00 13:00~18:00		
●推奨環境、周辺温度25℃以下 ●稼働時間18,000時間を超えた場合は交換を 推奨します。 ●録詞データや単用設定などは必要に広いてバックアップをおこなってください。	※祝祭日、弊社指定休業日を除く		
■本器の利用に際し、故障や調動作、不具合などによってデータの消失などの障害が 発生しても、弊社では保証しめることをあられていたってデータの消失などの障害が	弊社 HP:http://www.n-sk.jp		
たエリてつ、 笄社 には休証しがねることをのつかしめご 」 承くにさい。	お問合せ Mail:hp@nsk-sec.co.jp		